

【参考】各都府県で要救助者数が最大となるケースの要救助者内訳

※地震動ケース(陸側)

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合

(人)

	揺れによる 建物倒壊に伴う 要救助者数	津波による 要救助者数	合計	最大被災ケース	
				津波 ケース	発災 季節・ 時間
茨城県	-	-	-		
栃木県	-	-	-		
群馬県	-	-	-		
埼玉県	-	-	-		
千葉県	-	約 500	約 500	ケース①	冬・深夜
東京都	-	約 300	約 300	ケース①	夏・昼
神奈川県	約 10	約 1,500	約 1,500	ケース①	夏・昼
新潟県	-	-	-		
富山県	-	-	-		
石川県	-	-	-		
福井県	-	-	-		
山梨県	約 1,300	-	約 1,300		冬・深夜
長野県	約 100	-	約 100		冬・深夜
岐阜県	約 1,000	-	約 1,000		冬・深夜
静岡県	約 57,000	約 8,000	約 65,000	ケース①	冬・深夜
愛知県	約 68,000	約 2,700	約 71,000	ケース①	冬・深夜
三重県	約 33,000	約 1,400	約 34,000	ケース①	冬・深夜
滋賀県	約 1,800	-	約 1,800		冬・深夜
京都府	約 3,000	-	約 3,000		冬・深夜
大阪府	約 16,000	約 1,000	約 17,000	ケース④	冬・深夜
兵庫県	約 6,000	約 6,900	約 13,000	ケース③	夏・昼
奈良県	約 6,600	-	約 6,600		冬・深夜
和歌山県	約 19,000	約 4,700	約 24,000	ケース③	冬・深夜
鳥取県	-	-	-		
島根県	-	-	-		
岡山県	約 4,100	約 10	約 4,100	ケース⑤	冬・深夜
広島県	約 2,400	約 200	約 2,600	ケース①	冬・深夜
山口県	約 200	約 60	約 300	ケース⑤	冬・深夜
徳島県	約 19,000	約 3,300	約 22,000	ケース③	冬・深夜
香川県	約 6,900	約 400	約 7,300	ケース④	冬・深夜
愛媛県	約 22,000	約 700	約 23,000	ケース⑤	冬・深夜
高知県	約 32,000	約 9,000	約 41,000	ケース④	冬・深夜
福岡県	-	約 40	約 40	ケース⑤	夏・昼
佐賀県	-	-	-		
長崎県	-	約 400	約 400	ケース⑤	夏・昼
熊本県	約 10	-	約 10		
大分県	約 400	約 3,400	約 3,800	ケース⑤	夏・昼
宮崎県	約 9,600	約 7,700	約 17,000	ケース⑤	冬・深夜
鹿児島県	約 20	約 300	約 300	ケース⑤	冬・深夜
沖縄県	-	約 100	約 100	ケース⑤	夏・昼

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。